

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 山下

山名	伊賀超え (宇治田原)	山行名	ユックリ山行 (個人)
ルート	立川公民館—やんたん—大福谷—正寿院—遍照院—茶屋村バス停		
山行日	2024. 11. 30 (土)	天候	曇り→晴れ
参加者	リーダー： 山下 サブリーダー： 木田 男性： 竹原(順)、西川、吉川 女性： 玉置、竹原(絹)、染矢、伊藤(典)、上田(秀)、玉井、 幾田、渡辺 合計： 13 名		

ルート概略図

(報告書の最後に表示)



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
新田辺	集		宝照院	着	13:10
	発	8:00		発	13:25
立川公民館	着		(休憩)	着	
	発	9:15		発	
ヤンタン	着	10:35	松井山手	着	15:30
	発	10:45		発	
大福谷	着	11:10		着	
	発	11:50		発	
正寿院	着	12:35		着	
	発	12:45		発	

山行報告

徳川家康が本能寺の変の際に、堺から岡崎に戻る時に宇治田原を經由したという伝説があり、宇治田原町では町おこしに担いでいて、7月6日に家康がこの地を通過したことで毎年7月6日には伊賀超えのハイキングを行っています。私は今年の夏に参加しました。丁度山行部長がユックリ山行を提案していたのでぴったりと思い計画しました。夏はヒルが出るので寒い季節にしました。現地はバスの便も悪く、バスを乗り換えないといけないので、車2台の提供を受けて出発地と下山口に車を置くことで可能となりました。

今年の秋は例年より遅れていたため里山の黄・紅葉を楽しむ。田んぼ道にさしかかると宇治田原の風物詩でもある「柿屋 (古老柿の製作小屋)」が我らを迎えてくれる。道中の約8割が舗装で2割が地道。標高差50m位の登り・下りが3回あり、下りでは荒れたところもしばしばありましたが足のリハビリ中の方も無事に通過。家康が歩いたであろう雰囲気のある道もある。

大福谷に着いたところで 風をよけた陽だまりにベンチもある所が見つかり、ゆっくり昼食とした。最後の遍照院ではユックリ休憩させていただいた。手入れの行き届いた庭園・1年の感謝をこめての鐘撞き・陣羽織を着て家康が腰かけたという椅子にすわっての写真撮影・トイレ・・・と。遍照院の息子さんは本日参加のYさんと同僚とのことにびっくり！

307号線沿いにあるお店で休憩タイム。寒いのに全員 お茶のソフトクリームをほおぼり本日の疲れをいやす。晴天の下、狙い通りの 超ユックリ山行が近場で楽しめました。皆様のご協力ありがとうございました。 約10km、1.6万歩。

ヒヤリハット; ありません

感想文

染矢

家康は堺から田辺・草内～木津川を渡り田原郷へ入った。その後、馬で伊賀を経て伊勢へ...と。
今回、宇治田原を通ったとされる、ほんの部の道を茶畑や古道・時々急坂を歩くのんびり山行でした。背に陽を浴びながら和気藹々のランチタイム。

ハート型の窓（ハートは魔よけの印）と風鈴祭りで知られる「正寿院」に、テレビで見えて一度行って見たかったお寺さんだった。紅葉も最高で青い空と白い雲がいっそう引き立たせていた。予報より好天に恵まれた一日でした。

ゴール近くの「遍照院」では自由に鐘を鳴らす事が出来た。下方の住人はさぞや「今日はやたらよく鳴るなあ～」と思っていたかも知れません。平日はバスもなく車でないと行けない所でした。

宇治田原は成功への通り道？宇治田原を通った者達は皆戦いの勝者になり成功を収めています...と伝え継がれているようですが...果たして？

あちこちに点在する廃屋、実家を思い出す。3年前空き家となり、妹と相談して相続放棄し、崩れかけた家・何処にどれだけあるかわからない、山・畑・田。相続財産管理人に全てお任せし、すっきりした。おかげで又山にも行ける様になりました。



① 陽だまりでの昼食



② 正寿院



遍照院教訓



③ 遍照院にて武将の一休み

